



「静岡水わさびの伝統栽培」 世界農業遺産認定記念フォーラム



平成30年3月9日に「静岡水わさびの伝統栽培」は、世界農業遺産に認定されました。

この伝統的な農業システムを広く知っていただくとともに、この農業システムを保全・継承しつつ、地域の活性化につなげていくにはどうすべきか、皆様とともに考えていきます。

日時：2018年7月23日(月) 会場：修善寺総合会館

14:00～15:00 試食会・ジオリア見学会
15:00～17:00 認定記念フォーラム

主催 静岡わさび農業遺産推進協議会、静岡県 共催 伊豆市

プログラム

- 15:00 開会・主催者挨拶
(静岡わさび農業遺産推進協議会 会長 静岡県知事 川勝平太)
- 15:05 開催地代表挨拶
(静岡わさび農業遺産推進協議会 副会長 伊豆市長 菊地豊)
- 15:10 認定証授与式の報告
(静岡県経済産業部農業局長 細谷勝彦)
- 15:25 基調講演
演題：「世界農業遺産となった静岡水わさびへの期待」
講師：武内和彦氏
(東京大学サステイナビリティ学連携研究機構長・特任教授)
- 16:40 生産者による取組発表
1.刈クロン苗の二次苗生産の取組
発表者：あおい高原育苗生産株式会社 総務部長 白鳥義彦
2.わさび苗の周年安定生産に向けて
発表者：わさび苗安定生産協議会
伊豆の国農業協同組合修善寺営農センター 係長 日吉新
3.わさび田改田技術の継承
発表者：天城湯ヶ島山葵組合研究部 部長 安藤智久
4.伝統技術の継承や枯れ木除去等周辺管理、収穫体験等
発表者：中伊豆山葵組合青年部 部長 塩谷剛士
- 16:55 閉会挨拶
(静岡わさび農業遺産推進協議会 副会長
静岡山葵組合連合会 会長 塩谷廣次)
- 17:00 終了

講師紹介



武内 和彦氏

1951年和歌山市生まれ。1974年東京大学理学部卒業、1976年同大学院農学系研究科修士課程修了、農学博士。東京大学アジア生物資源環境研究センター教授などを経て、1997年より2012年まで同大学院農学生命科学研究科教授。2008年より2016年まで国連大学副学長・上級副学長。2012年より東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)機構長、教授・特任教授。2017年7月より公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長。中央環境審議会会長、日本学術会議副会長、Sustainability Science誌(Springer)編集長などを兼務。2017年、日本農学賞・読売農学賞、Otto Soemarwoto Awardを受賞。著書に『世界農業遺産—注目される日本の里地里山』(祥伝社新書、2013年)、『日本の自然環境政策—自然共生社会をつくる』(東京大学出版会、2014年、共編著)などがある。2012年よりふじのくに美しく品格のある色づくり推進委員会委員長。